

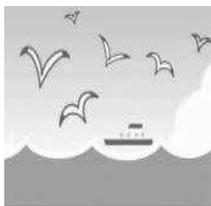
つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 42

2014年10月発行

## 電車に乗って海と船を見に行こう



日 時：2014年7月19日（土）11：00～16：00

場 所：地域生活サポートネットほうぷ～天保山

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 7名、学生ボランティア 3名

大阪港駅まで電車に乗り、天保山に行きました。事前に子どもたちに、「地下鉄に乗って海と船を見に行くだけだよ。水族館には入らないよ」と説明をしましたが、その時は納得していたとしても、海遊館を前にして、「入りたい！」と気持ちが抑えられないのも無理はありません。本当にごめんなさい！今年度は資金不足で、海遊館は入場料が高くて入ることができなかつたのです。来年度は、きつときつと連れて行きます！

海と船を眺めて、お昼ご飯を食べ、渡し船に乗りに行きました。怒っていた子どもも、渡し船に乗りに行く頃には機嫌を直してくれました。渡し船は、短い乗船時間ですが、無料で、サンタマリア号がすぐそばを通り、USJのスタッフの方々が出勤のために乗り込んでこれ、面白い体験をしました。スタイルのよいオシャレな外国人さんたちと渡し船に乗って、ちょっと異国に来たような錯覚にとられました。泣いたり、笑ったり、怒ったり、子どもたちとスタッフと学生の距離が近くなった一日でした。

### ＜ボランティアの感想から＞

- ・ タイムスケジュールを決めないで行動していくのも、のんびりすることができたので、このスタイルも良いと思いました。
- ・ 駅のホームで子どもに走られてしまい、うまく注意をすることができませんでした。電車の中でつり革にぶら下ったり、一人の子どもと話していたらもう一人の子どもを見失ったり、いつも緊張感をもって見守らなければと思いました。海を見ながら「トビウオいるかなあ」と言ったり、野球が大好きで阪神の話をしてもらいました。



# ゆかたを着て 夜店に行こう！



日 時：2014年8月5日（火）14：30～18：30

場 所：地域生活サポートネットほうぶ〜千林商店街

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 9名、学生ボランティア 9名

8月、昨年に引き続き、浴衣を着て夜店に行くイベントを開催しました。昨年、お世話になった美容師さんと旭区老人クラブ連合会女性部の方々に、今年もご協力をいただきました。みなさん、今年も楽しみにしていたと快く引き受けてくださいました。感謝、感謝です。子どもたちは、きれいに髪をセットして、浴衣を着て、学生ボランティアさんたちと千林商店街の夜店に出かけました。

美容師さんは、11名もの髪を手早く美しくセットしてくださり、老人クラブの方々は、次々と着付けをしてくださいました。自分でできるところは時間をかけて着るチャレンジをする子、浴衣初体験でとにかく着させてもらうことを優先する子、それぞれの子どもにあったように工夫して対応してくださいました。急に大人っぽくなった女子、とても男前になった男子、みんな、とてもうれしそうでした。ほうぶの前で記念写真を撮って、千林商店街へ出かけ、夜店を楽しみました。

雨が降りそうな天候でしたが、幸い、降られずに無事に終了。最後に花火をしようと思っておりましたが、子どもたちは暑くて疲れて、ほうぶに帰るとすぐに解散となりました。お迎えに来られたお母さんたちが、子どもたちの髪型や浴衣姿に感動され、少し大人に近づいた子どもを感じてくださったようです。いつまでも子どもじゃないよ～！

子どもたちの浴衣姿の写真をほうぶに飾り、つけたタイトルは、「ほうぶコレクション in SUMMER」。ということは、これから、「ほうぶコレクション」が続いていく…、ということです！次は、ほうぶコレクション in WINTER、やります。ご期待ください。みなさん、見に来てくださいね。



## <ボランティアの感想から>

- ・最初は子ども達とのコミュニケーションの取り方にとまどうこともありましたが、最終的に皆と遊んだり話したりすることができました。女子はヘアセットや着付けを終えると、照れながらもとてもうれしそうでした。お祭り前のワクワク気分を味わうことができました。夜店で焼きそばを食べてご機嫌でした。
- ・美容師さんに髪をセットしてもらって嬉しそうでした。見ているこっちも楽しくなりました。商店街に行きましたが、いろいろなものがあって最初は楽しく見ていましたが、だんだんと人ごみに疲れて早めに帰りました。
- ・皆で浴衣でお出かけできたことは、夏の思い出になる楽しい出来事だったと思います。着付けをして満面の笑みの子どもを見て、私もとてもうれしくなりました。普段、表情がわかりにくいところがありますが、少し表情が柔らかくなっていたように感じま

した。

- ・今回、初めて参加させてもらい、すごく楽しい時間を過ごさせてもらいました。皆、浴衣を着ると大人っぽくなって驚きました。
- ・夜店のスーパーボールすくいでは、いっぱいすくってうれしそうでした。たませんを噛み切るのが少し大変そうでしたが、おいしそうに食べていました。もっと子どもと話ができたら良かったと反省しました。
- ・浴衣を着ていて、いつものように走り回ることなくいい子でした(笑)。初めて浴衣を着たとのことで、歩きにくそうにしていたのですが、夜店では楽しそうにしていました。私も夜店の雰囲気を楽しめて良かったです。
- ・夜店はすごい人ごみで、迷子にならなくて良かったです。



## 保護者支援者向け研修会 ～障害児の性に関する指導～



日時：2014年9月28日(日) 10:30~12:30

場所：地域生活サポートネットほうぶ(楽童ほうぶ)

講師：伊丹昌一氏(梅花女子大学 こども心理学部心理学科教授)

参加者：保護者 7名、支援者 10名、大学生 3名

一時保育：障害をもつ子ども 3名、社会人ボランティア 2名

ほうぶの事務所移転後、初めての研修会を開催しました。法人設立から10年経って、ようやく自前の会場での研修会です。会場は、受講者20名でいっぱいになりました。

研修会のテーマは障害児の性。とても難しく、避けて通りたいような課題です。きっと、悩んでいる保護者や支援者がおられるだろうと思い、このテーマを取り上げました。参加者の皆さん、とても熱心に受講され、質問もたくさん出ました。大人の私たちが、どのように受けとめ、どのように対応すればよいか、多くを考える時間となりました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

放課後等デイサービス楽童ほうぶのスタッフ研修も兼ねたので、一時保育は、NPO法人スタッフが担当しました。ショッピングセンターに行き、ペットを見て、フードコートでお昼ごはんを食べてきました。

当日は、近隣の公立小学校の運動会でした。開催前から、「参加したいのに参加できない」という声がたくさんありました。研修会に参加された方々からも「また開催してほしい」

という声が寄せられました。来年度も同様のテーマの研修会を開催したいと思います。

保護者も支援者もお互いに学びあえるような研修会を開催していきたいと思います。

### ＜感想から＞

- ・ 障害があるからといっても指導の基は変わらないのかなと思いました。少し工夫が必要ではあるけれど、その子に合った指導の仕方を考えていけたらいいのかなと思うし、それが見つかった時はすごく達成感もあると思いました。今日は貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・ とても難しい課題ですが、解りやすく教えていただきありがとうございました。具体的な対応方法等、すぐに実践できることはやっていこうと思いました。
- ・ また来年も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・ 今日はとても勉強になりました。「どうしたらできるか」を考えるクセづけをしていきます。「性」については、親が改まって子どもに教えるより、学校の保健体育の時間に学ぶことで済ませていたのですが、生きる上でとても大事なことであり、正しい事や場に適した事、また、自分を守ることの基盤になることが理解できました。ありがとうございました。
- ・ 性に関する具体的な関わり方をお話いただいて、とても勉強になりました。次回も参加したいと思います。
- ・ 放課後等デイサービスで働いている者です。中学生の利用者さんに対して、どのように接していけばいいのか、悩んでいたのが、すっきりすることができました。今日、学んだことは、スタッフ内で話し合い、子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる場所にしていきたいと思いました。
- ・ 児童デイスタッフをしています。今回は貴重なお話を聞いてとても勉強になりました。勤務している児童デイは、重症心身障害児の方々なので、性に関する問題はあまり目立ってはいないのですが、生活年齢に合わせた接し方や異性を意識した接し方等、参考になるお話がたくさん聞けました。
- ・ 最初、性に関する指導ということで、私の子どもはとても幼く早いかなど思ったのですが、先生のお話はとても勉強になりました。よい意味での親ばなれ子ばなれは必要だと思いました。
- ・ 表や円グラフを見て、本当に個人差があると感じました。実習に行っている時に、「なんだろう」と興味を示したり触ったりしている子どもがいて、どんなふうに声かけしたらよいかわかりませんでした。今回の研修を受けようと思ったのもそのためです。話を聞いて、初めて知ったことが多く本当によかったです。
- ・ 大学で特別支援教育の教員養成課程の授業を受けているのですが、このような踏み込んだ話や具体的な事例というのはなかなか聞けないので、すごく勉強になりました。思春期の児童生徒とかかわることは、保護者に次いで教育者が多いと思うので、少しでも活かしていきたいと思いました。



# 放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

現在、小学4年生から高校1年生までの子どもたちがやっています。時々、学校に行けない子どももやってきます。7月から9月は、お琴や七宝焼きに加え、ボランティアの方のご協力で音楽を楽しむ活動をしました。夏休みはたっぷり時間があるので、工作などの取り組みもしました。また、連日のようにクッキングをしました。菜園のきゅうりとミニトマトをたくさん食べました。国産無農薬露地栽培、売れば高く売れたかも…。おやつにかき氷作りもしました。8月と9月はお誕生日会を開きました。夏の終わりを惜しむように、花火もしました。花火初体験の子どももいて、光と熱を感じていました。夏休み前と夏休み明けには、「個人将来計画」のワークショップを行ないました。

8月9日、台風11号の大雨で、雨もりがしました。子ども達の過ごす広い部屋の天井から、ポタポタとしずくが落ち、床が水浸しになっていました。隣接の収納庫も水浸しでした。シートを敷いたり、バケツを置いたり、大わらわでした。修理を検討しています。

毎月、写真いっぱい「楽童ほうぷだより」を発行しています。楽童ほうぷに通ってくるお子さんの保護者の方に配布し、ほうぷにも掲示しています。

地域の方々とのつながりを大切に、保護者のお話に耳を傾けていきたいと思います。子どもの声にならない声をキャッチしようと心がけ、障害のあるなしにかかわらず、良いことと悪いことをきちんと伝え、失敗も含めた体験を積み重ねる機会を作っていきたいと思っています。子どもと大人の居場所を作っていきたいと思っています。

## 七宝焼き

毎月1回、土曜日に七宝焼きをしています。窯をくださった牧野さんと、大阪工業大学の学生さんがボランティアで指導してくださっています。できあがった作品をお母さんにあげるといふ子どものうれしそうな笑顔。一生懸命、色付けをしている真剣な表情。今回は、作品をご紹介します。



## 音楽で楽しい時間♪



お琴を月に1回、教えていただきました。ポーズはなかなか様になっていますが、難しくて四苦八苦…。



8月と9月の2回、ボランティアの方にギターを弾いて歌を歌っていただきました。事前に、子どもたちが模造紙に歌詞と絵を書き、当日を楽しみにしていました。子どもたちも一緒に歌ったり合奏したりしました。今後も月に1回程度、土曜日の午後に音楽を楽しむ

時間を作りたいと思います。

## 個人将来計画ワークショップ

7月17日と9月26日に個人将来計画ワークショップを開催しました。いずれも、中学2年生の女子です。それぞれ、学校の先生が参加してくださいました。また、子どもとかがわっている福祉サービス事業所の方も参加してくださいました。個人将来計画は、個別支援計画を見直す機会でもあります。参加者たちが、自身を見つめなおす機会でもあります。今後も、子どもが主人公のワークショップを開催していきたいと思っています。

個人将来計画ワークショップの後、具体的に計画を作り、実践をしています。この夏は、お父さんやお母さんに髪の毛をカットしてもらっていた女子2名が美容院体験をしました。美容院で、雑誌の中から好きな髪型の写真を選び、それを見ながら、カットをしてもらいました。オシャレに関心がある年頃。鏡を見て嬉しそうにしていました。



## クッキング&おやつ



お好み焼き、ビビンバ丼、そうめん、オムライス、カレーライス、手巻き寿司、カレーチャーハン、焼きそば…など、夏休みは、毎日のようにクッキングをしました。おやつでは、かき氷が人気でした。カンパでいただいたかき氷機が大活躍でした。



## ボランティア募集！♪

障害をもつ子どもたちと音楽を楽しむ時間をつくってくださる方々を募集しています。子どもと一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したり。

月に1日程度の活動です。関心のある方、ぜひ、ご連絡ください。

日時：土曜日 月1回程度

14時～16時くらい（交通費 1,000円まで支給します）

場所：楽童ほうぶ 大阪市旭区清水2丁目16-22

子どもに勉強を教えてください、遊んでくださる方も募集中！



# ほうぶのつどい

9月26日  
スタート!



～ みんなちがって みんないい ～

日時：金曜日 10時30分～12時

がくどう (都合により開催しない日もあります)

場所：楽童ほうぶ (地域生活サポートネットほうぶ事務所)

対象：障害をもっている、あるいは、発達が気になる就学前の子どもと保護者  
障害をもっているお子さんや、

発達が気になるお子さんを育てていらっしゃる保護者の方々、

出産育児に不安を抱えている妊婦さんなど、

どうぞお立ち寄りください。

おしゃべりをしたり、子どもと遊んだり。

お子さんと一緒においでください。子どもも親も一緒に育っていきましょう!



障害をもつ  
幼い子どもと保護者の  
居場所♡

## ● 情報 掲示板 ●

### いい汗かこうぜ! ボランティア ～地域における子育て支援ボランティアについて～

日時：11月27日(木) 10時～12時 参加費：無料

会場：あさひあったかセンター 3階 多目的室 定員：30名(定員になり次第しめきります)

講師：新崎国広氏 (大阪教育大学 教育学部 教養学科 発達人間福祉学講座 准教授)

申込問合先：あさひあったかセンター(担当:小島) 06-6957-2200 asahiswc@stsr.odn.ne.jp

あつという間に季節が変わっていきます。慌ただしい夏が過ぎ、朝晩、肌寒くなりました。蝉の声が消えて、静かな秋がやってきました。事務所の菜園は、きゅうりとミニトマトから、大根とブロッコリーとじゃがいもに植えかわりました。うまくできるといいなあと眺めています。

楽童ほうぶにやってくる子ども達も増えてきました。車の送迎をしていないので、子どもの送迎に限界があり、定員に達していなくても受入れが難しいところがあります。それでも、安易に「利用者」を増やす手段は選びたくありません。子どもたちは、さまざまなモノを抱えています。子ども支援は親支援でもあります。子どもを通して、社会の問題も見えてきます。一人ひとりに、そして、家族に、丁寧に向き合っていきたいと思います。みなさまのご理解とご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。台風の時節です。気を付けてください。



